



\*今月の花  
ピラカンサス



映画ポスター

事件の「第三者」に着眼  
**光州に閉じ込められなかった  
 真相、巧みに描く**

鑑賞のおすすめ



【その 25】

韓国映画  
 「タクシー運転手  
 (택시운전사)」

2017年

伊藤 一郎

(朝鮮文化を知る会)

映画は一九七九年の朴正熙大統領暗殺後に発足した全斗煥政権下の一九八〇年五月に起きた韓国南部の都市光州で発生した光州事件(注1)を背景としたノンフィクション映画。

今年八月から公開され、公開初日に六九万八千人の観客を動員し、韓国における記録的ヒット作になった。映画に登場する主人公マンソプ(金砂福)とドイツ人の記者ピーター(日本駐在のドイツ人ジャーナリスト、ウイルゲン・ヒンツペト)はそれぞれ実在した人物である。

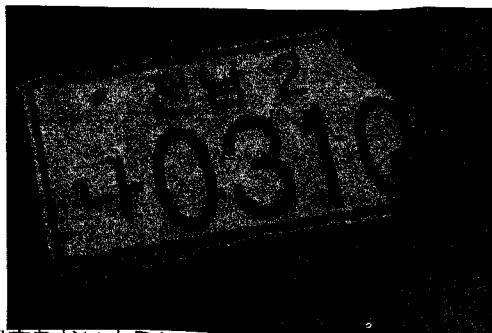
ある日、ソウルの平凡な父子家庭のタクシー運転手であった主人公のマンソプは、ドイツ人の記者ピーターに「外出禁止令までに光州に行つて、ソウルに戻ってくる」ことを依頼される。折しも家賃の十萬ウォンの支払いに困っていたマンソプにとってまたとない提案であった。

徹底した情報統制が図られていた韓国でのマンソプは、光州事件の状況について知る由もない。当時、韓国は朴正熙元大統領が暗殺

後の混乱期であった。韓国国民には、光州でデモが起きているという伝聞のみ伝わっていた。

ドイツ人記者との言語的な意思疎通が不十分でありながら、何も知らないままに光州にタクシーを走らせた。政治的無関心であったマンソプであったが(マンソプは映画の冒頭で、渋滞に遭遇する。政治運動の当事者でないマンソプはデモに対して「親のすねかじりの分別ない学生デモで渋滞だ」と嘆く)、光州において凄惨な虐殺の現場に次々と遭遇するにつれ、徐々に政治的意識が覚醒されていく。

映画では、光州のあちらこちらが、撃たれた若者たちの血で染まり、家族を撃たれた女性たちが絶叫している。負傷者を助けようとした学生たち、負傷した仲間を担架で運ぼうとする人々に対して、隊列を組んだ軍隊が容赦のない射撃を加える。白旗を降つて無条件降伏を呼びかける丸腰の若者にさえ軍隊は容赦のない射撃を加える。ほとんど丸腰の市民に対して完全武装の軍隊が一方的な暴力を加える皆殺しの戦場である。



目立たないように車のナンバーをソウルナンバーから全羅南道の番号に取り換えるマンソプ



負傷者を救出しようとする人々に、軍の無慈悲な銃弾が浴びせられる。



タクシーが光州からソウルに向かう際の検問で、兵士はタクシーのトランクからソウルのナンバープレートを見つめる。偽装のナンバープレートであると知りながら、検問を見逃し、部下に検問通過を命じる兵士。通過をいぶかる部下に再度検問通過を通知する。



光州市内に入るタクシー

光州の名誉市民となったウイル  
ゲン・ヒンツペトは、加害者でも  
なく被害者でもなかった第三者で  
あった。映画「タクシー運転手」  
のように加害者でもなく被害者で  
もない第三者の視点で描かれた映  
画は初めてである。

これまで光州事件を扱ってきた  
映画の数々は、ややもすると観客  
の生い立ちの背景による感情的な  
加害者、あるいは被害者の視点に  
より映画を見るため、事件に対す  
る感情が増幅、または矮小化され  
る恐れもあった。この映画の独自  
性は、まさに第三者であるドイツ  
人によって内外に明らかにされた  
光州事件を、さらに第三者である  
ノンポリのタクシー運転手の目を  
通して描かれていることである。

光州事件の生々しい映像を撮つ  
た画像は、日本経由でドイツに奇  
跡的に持ち出されたのである。徹  
底した報道規制のなかで光州事件  
を報道したドイツ人ジャーナリス  
トのウイルゲン・ヒンツペトには  
後日、光州の名誉市民賞とともに  
ソンゴンホ言論賞なども贈られて  
いる。

報道によると韓国の文在寅大統  
領は映画「タクシー運転手」をソ  
ウルの映画館で鑑賞した。鑑賞し  
たあと大統領は、光州事件の真相  
究明を今後の任務とする、と表明  
し、「光州の民主化運動は常に光州  
のなかに閉じ込められていると感  
じてきたが、（この映画で）当時の  
真実が国民のなかに広がるという  
予感がする」とのコメントを出し  
た（注2）。光州事件は現在、「光  
州民主化運動」と呼ばれ、事件の  
犠牲者たちとその遺族たちは民主

政治的に無関心だったマンソプ  
の視点で映画は展開するのである  
が、他人事である光州事件がマン  
ソプの視点により徐々に自分化さ  
れていく。マンソプの視点で、光  
州事件に無関心の観客であつても  
どんどん映画の中の事件に引き込  
んでいく手法が巧みである。商業  
映画としての娯楽性を備えながら  
も、この映画には強い社会的なメ  
ッセージが込められている。

政治的に無関心だったマンソプ  
の視点で映画は展開するのである  
が、他人事である光州事件がマン  
ソプの視点により徐々に自分化さ  
れていく。マンソプの視点で、光  
州事件に無関心の観客であつても  
どんどん映画の中の事件に引き込  
んでいく手法が巧みである。商業  
映画としての娯楽性を備えながら  
も、この映画には強い社会的なメ  
ッセージが込められている。



軍隊によって制圧された光州市内



娘と向かい合うマンソプ

化の功労者として認められた。光州事件を映し出した芸術も数多い。詩人の金準泰「ああ、光州よ！われらの十字架よ！」という詩には、光州事件当時、外出した夫を気遣って外出して殺害された妻の悲劇が描かれている。韓国の作曲家尹伊桑は、光州事件の犠牲者追悼のために交響詩「光州よ、永遠に」を作曲し、犠牲者を追悼した(注

3)。  
筆者が学生時代に訪れた韓国と現在の先進国としての韓国は大きく変わった。地下鉄に乘車しても、以前の人間関係とは大きく変わってしまった。隣の人、周りの人への気遣いよりも個人として自分が生きることに懸命にならなければならぬ社会に人々は生きている。

それとは対照的に、かつて韓国には生きるために、また社会正義のために自らの命を懸けて声を上げた市民の蜂起。五月十七日の全斗煥に「タクシ運動手」は、個人主義の時代に生きる私たちに波紋を投げかけている。

光州事件は、命を懸けて取材をした外国人と、その意を汲んで心から支援した政府関係者、市民らの無償の助けによって世界に広く伝えられた。国家権力が葬り去ろうとした事件は、市民によって光

が当てられたのである。今年八月、光州地裁は太平洋戦争中に名古屋市の軍需工場などに徴用された元勤労挺身隊の韓国人女性3人と遺族1人に対して三菱重工業に損害賠償の支払いを命じた。

光州の地では現在も、社会正義を求める市民の精神が脈々と受け継がれている。光州において社会正義を求める人々の声は分断されていない。国境を越えて光州、そして韓国全土の市民と日本の市民との連帯が継続することを願ってやまない。

(注1)一九八〇年五月十八日から二七日にかけて韓国の全羅南道の道庁所在地であった光州市を中心として起きた市民の蜂起。五月十七日の全斗煥によるクーデターと金大中の逮捕を契機に五月十八日にクーデターに抗議する学生デモが発生した。戒厳軍の暴行に怒った市民もデモに参加した。民衆によるデモは木浦をはじめ全羅南道一帯に拡がり、市民軍による武器庫襲撃後、銃撃戦の末に全羅南道道庁を占領したが、五月二十七日に大韓民国政府によって鎮圧された。

(注2)二〇一七年八月二三日 産経新聞電子版

(注3)一九八一年、尹伊桑が作曲した交響曲。三部(一部「決起」虐殺」、二部「鎮魂」、三部「再行進」)で構成されており、尹伊桑の最高傑作と言われている。一九八一年五月にドイツのケルン放送交響楽団により初演された。初演を韓国で行う尹伊桑の願いは果たされなかった。一九八二年に高橋悠治指揮東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団により演奏された。光州市立交響楽団は、毎年五月に追悼音楽会などの特別公演を開催している。世界的な指揮者シャルル・デュトワによるモントリオール交響楽団は、定期的に演奏を行っている。

【参考文献】

『光州事件の真相』(1996), 野村浩将監修

民団愛知創団70周年記念／韓日歴史・文化フォーラム開催50回記念

# 未来志向の韓日関係

韓日歴史・文化フォーラムでは各界の専門家をお招きし、韓半島に関係する歴史や文化など様々なテーマで開催してきました。今年秋には、50回目の節目となる回を迎えるにこととなり、隣国でありながら関係が悪化する日本と韓国の関係改善に向け、「未来志向の韓日関係」をテーマにシンポジウム形式で開催いたします。

韓日関係は2000年代に入り、韓日共同で開催されたサッカーワールドカップや韓流ブームなどによって良好になりつつありました。しかし、近年は日本の植民地統治による戦後補償、歴史認識、領有権を巡る対立によって急速に悪化しました。こうした、状況を改善していくには何が必要になるのでしょうか？実は、これまでフォーラムで開催してきた様々なテーマの中にもヒントが隠されているのではないでしょうか？古代朝鮮から多くの人々が、海を渡って日本に移り住み、朝鮮の文化も伝わってきました。また、今以上に最悪であった関係を改善させるべく遣わされた朝鮮通信使など、過去にも両国の関係は良好と険悪を繰り返されてきたのではないでしょうか？そこで、古代、近世、現代の各専門家をお招きし、それぞれの視点から「未来志向の韓日関係」を考えてみたいと思います。

日時／**11月12日(日)** 午後**2**時

場所／愛知韓国会館 5階ホール

名古屋市中村区亀島1-6-2

地下鉄東山線「亀島駅」

③出口より徒歩1分

参加費／**1,000円**

※資料代と懇親会費を含みます

定員／**150**名 ※要予約

主催／在日本大韓国民団愛知県地方本部

韓日歴史・文化フォーラム実行委員会

後援／駐名古屋大韓民国総領事館

在外同胞財団

## ■第一部 基調報告

早稲田大学文学学術院教授

李成市氏

京都造形芸術大学歴史遺産学科客員教授

仲尾宏氏

慶応義塾大学法学部政治学科教授

西野純也氏

## ■第二部 パネルディスカッション

【コーディネーター】

愛知淑徳大学講師

尹大辰氏

【パネリスト】

早稲田大学文学学術院教授

李成市氏

京都造形芸術大学歴史遺産学科客員教授

仲尾宏氏

慶応義塾大学法学部政治学科教授

西野純也氏

日韓市民ネットワーク名古屋統括幹事

後藤和晃氏

## ■第三部 懇親会

4階にて韓国料理をご用意させていただきます。



諷刺 (要旨)

勤労挺身隊おばあさんの権利救済  
これ以上遅らせることはできない

キム・イス憲法裁判所長候補者の国会本会議承認表決否決に続き、キム・ミヨンス大法院長候補者の国会承認もまた、見通せない状況である。法治国家で憲法裁判所長空白状態に続き、司法部最高期間の首長まで空白状態にあるのは、これまでになくのことである。

大法院長に与えられた重大な機能と権限を照らしてみるとき、これは決して軽い事案でない。知つてのとおり大法院は憲法の根幹である民主主義と国民の基本権を守る最高の裁判所であり、各種紛争解決の最終判断機関という点で、その社会的影響力は多岐にわたる。しかし先の政権は、大法院の機能と役割で、深刻な問題を惹き起こしてきた。例えば、日帝強制動員被害者の損害賠償請求訴訟事件だけでなく、

二〇一二年五月大法院は、日帝強制動員被害者が日本企業を相手に提起した損害賠償請求事件にたいして、既存下級審判決をひっくり返して、個人請求権を認めることにより、被害者の権利救済に新しい基準点を提示した。

以後大法院判例趣旨により、ソウル高等法院、釜山(プサン)高等法院で順に原告の請求を認めて勝訴判決した後二〇一三年七月大法院に再上告されたが、なぜか、以後常識的に理解できないことが広がっている。

初めて係留された事件でもなく、大法院の破棄還送判例趣旨により宣告した事件に対して、大法院が満八年も先送りしているためだ。二〇一五年六月光州(クワンジュ)高等法院で勝訴して大法院に係留された三菱勤労挺身隊事件

は、やはり又年を遙かに越えている。過程を調べれば問題はさらに深刻だ。大法院はすでに二〇一二年五月破棄還送判決があるまでの三年の間、(大法院に二〇〇九年上告された事件を二〇一二年に判断)関連事件を扱ったことがある。これを勘案すれば、大法院に事件が初めて係留された二〇〇九年からは満八年、大法院が直接係る満七年の間大法院によって事件が縛られているわけだ。一言で、二〇一二年に宣告された大法院判決がそのまま確定する場合、一九六五年パク・チョンヒ政府の時締結された韓日請求権協定の不完全性が公認されるのを恐れた政治的意味合いが介入しなくては理解することはできない。

残念なことにはこのように訴訟が遅れて、多くの被害者が最終判断

を見られないまま運命をおえた。二〇〇〇年提起された三菱重工業広島徴用被害者事件の場合、一七年の間事件が長くなって当初被害当事者であった原告、入全部亡くなつてしまつたし、二〇〇五年提起された新日鉄住金徴用被害者事件の場合、二〇一三年七月ソウル高等法院で勝訴判決を得ても大法院最終判断を見られないまま、原告四人中二人が死亡する悲劇が起きてしまつた。

国民の信頼を破つたのは、ただ日帝強制動員被害者の事件だけではない。これを正して、司法部の最高機関である大法院が一日も早く自らの機能をつくして、国民の信頼を回復するためにも、司法部首長である大法院長の空席状態はこれ以上放置できない。

もちろん検証は徹底しなければならぬ。推薦された大法院長候補が業務遂行能力と資質に問題があつたり道徳的欠陥があるならば別だが、しかし今までの過程を見る時、人事検証五大原則に誤りがあつたり、業務遂行に深刻な問題があるという指摘は全く聞かれない。

逆にいえば自由韓国党(旧『セ  
ヌリ党』)は言うまでもなく、さら  
にキヤスティングボードを握って  
いる国民の党の、党利党略、や  
ごり押しのけち、以外には説明す  
る方法がない。

言い切ってもよい。大法院長が  
政争の犠牲にでもなるのか?  
強調するが、勤労挺身隊被害お  
ばあさんは来年には九十歳だ。こ

以上権利救済が遅れてはいけな  
い。  
国会と各政界は、非難の矢が自  
分たちに向かっていることを直視  
して、一日もはやく大法院長承認  
手続きに入ることを強く求める。  
二〇一七・九・一九  
(韓国・光州) 勤労挺身隊ハル  
モニと共にする市民の会

★参考★その後の情報【編集部】  
韓国大法院長人事案可決

『日経』紙二〇一七・九・二  
二(ソウル)鈴木壮太郎「韓国の  
国会は二一日、大法院長(最高裁  
判所長官)に金命洙(キム・ミョ  
ンス)前春川地方裁判所長を任命  
する人事への同意案を可決した。

文在寅(ムン・ジェイン)大統領  
が指名した金氏は人権派の判事と  
して知られる。過去2代の保守政  
権下で最高裁は日本統治時代に朝  
鮮半島から動員された徴用工につ  
いての判決を見送ってきたが、金  
氏の就任で裁判への影響を指摘す  
る声もある。

文見記者会

(要旨)

一九九円の恥辱、勝訴で報いた  
光州地裁Ⅱ二次・三次 勤労挺身隊訴訟判決

当然の結果だ。光州(クァンジュ)地方法院は日帝強制占領期間  
勤労挺身隊で動員された被害者と  
遺族が三菱重工を相手に提起し  
た第二次、第三次損害賠償訴訟に  
対して、去る八日に続き今日(十一  
日)、再び三菱の不法行為を認めて  
賠償 命令を下した。

韓半島不法占領過程で行った植民  
犯罪と人権蹂躪に鉄槌を加えた韓  
国司法主権の勝利だ。  
合わせて、二〇一五年原告(キ  
ム・ジェリム、シム・ソンエ、梁  
榮洙に厚生年金脱退手当て一九九  
円を支給して愚弄したことに対し  
て、明確に勝訴判決で報いる歴史  
的快挙だ。

三菱の二枚舌もまた、非難を受  
けて当然だ。  
過去に、軍艦島(ハシマ)炭鉱  
を運営した三菱マテリアルは去る  
二〇一五年七月、訴訟提起もなか  
ったアメリカ被害者を自ら訪ねて  
行つて頭を下げて謝り、続いて中  
国被害者とも「和解」したことが  
ある。

今回の判決は三菱側のごり押し  
主張がこれ以上通じないというこ  
とを再度確認したことで、日帝の  
た。被害者はやっと十三く十五才  
だ。

当初は議論しにくい問題であつ  
てしまった。決して許せないこと  
部分が療養病院の世話にならなけ  
ればならない残念な状況に置かれ  
てしまった。

しかし韓国被害者には、どのよ  
うに對しているのか! 強調する  
が、三菱は控訴をあきらめて、直  
ちに裁判所命令を履行しなければ  
ならない。  
こうした中、去る九日、日本政  
府官房長官は光州(クァンジュ)  
地方法院の三次訴訟勝訴判決に對  
して「韓日請求権協定によって、

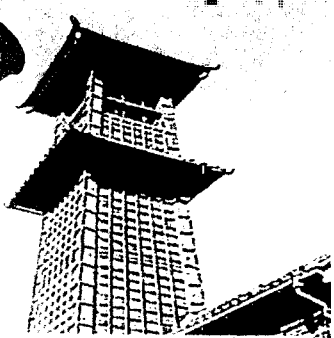
2017年  
11月12日  
12時半~14時

朝鮮通信使を  
世界遺産に!  
この秋開催目前!

가와고에 토진소로이

# 第13回復活! 唐人揃い—朝鮮通信使 多文化共生・国際交流。パレード

# 川越唐人揃い



★愛知勢 (『現代の朝鮮通信使・愛知』『ブリパン』ほか) も、パレード参加します!

後援  
川越市/川越市教育委員会/川越商工会議所/小江戸川越観光協会  
埼玉県/埼玉県教育委員会/埼玉県国際交流協会  
川越水川神社/蓮福寺/高麗神社  
駐日韓国大使館/韓国文化院/埼玉県韓国教育院  
主催 川越唐人揃いパレード実行委員会

すでに解決された問題”として従来の立場を再び繰り返した。しかしこれはすでに古い主張である。日本政府は過去に日帝被害者が提起した文書公開訴訟で、外交的不利益が憂慮される、という理由で、当時韓日会談関連文書の公開を拒否したことがある。何が恐ろしいのか。堂々とすれば隠す理由はどこにあるのか!

韓国政府もまた、その責任から韓国政府はこの間、個人が日本企業らを相手にした私的な訴訟として、政府が立場を表明するのは不適切だ」として被害者を冷遇してきた。一方、韓日請求権問題に対しては、態度を変えて冷酷になって、日本政府代理人と合わない態度を取ってきた。特に、パク・クネ政府の時期、韓国外交部は日帝強制徴用損害賠償事件と関連して、既存判決に否定的見解を入れる資料だけを選んで作った意見書を大法院に提出したことがある。真に驚くことだ。引用資料のうちにはさらに“協

定の解釈が揺れる場合、対外的な責任を損うこと”、“日本企業らの韓国投資とビジネスに障害になること”という、法理的争いとは関係がない内容にまで言及した。これは、光州(クアンジュ)地方法院の勤労挺身隊賠償判決に反発して二〇一三年十一月六日、経団連など日本経済団体が異例の共同声明を発表した主張を、そのまま写したものだ。二〇一七・八・十一(韓国・光州) 勤労挺身隊ハルモニと共にする市民の会

が利敵行為なのか! 強調するが、法治国家においては、国家間条約に対する解釈権限は唯一司法府だけが持つている。経済論理を前面に出して司法府決定を無視して、日本外務省が挙げようである声をそのまま写すのは、独立国家の権威を自らあきらめたことになり、司法主権に対する冒とくだ。



### 世界遺産

## ユネスコの登録 決定に注目

十月下旬、パリで開かれたユネスコの国際諮問委員会(IAC)は、日・韓の民間団体(日本朝鮮通信使縁地連絡協議会、韓国釜山文化財団)が共同申請した「朝鮮通信使に関する記録」の『世界の記憶』(世界記憶遺産)登録問題を審査。

十月末日現在、審査結果及び、ユネスコの事務局長への勧告内容、同事務局長の決定・発表はない。

共同申請された「朝鮮通信使に関する記録」の日本側リスト二〇九点の中には、名古屋市蓬左文庫所蔵の次の四点が含まれている。

- ▽甲申韓人來聘記事 1763~64尾張藩(松平君山) 1764、△朝鮮人物旗校轄興之図 1811猪飼正毅16世紀、▽朝鮮人御響応七五三膳部図 1811猪飼正毅19世紀、▽朝鮮国三使口占聯句 尹趾完・李彦綱・朴慶後 1682

### 尾張路の旅

## 『舎』盛り上げ あいつく?

十月七日、名古屋国際センター

で開かれたFAR勉強会で堀崎嘉明氏が、『江戸時代の善隣交流』朝鮮通信使尾張路の旅』と題し、同名近著のねらいと要点を話した。さらに阿野、鳴海、起、稲葉、清須など尾張路周辺の史料・遺物発掘の経過と課題を語り、「研究者と所蔵者が共同で読み解く」重要

性にふれた。勉強会は、「長い道中、『茶屋』の役割を考えたい」、「木曾川の渡河のさい、『渡り船』方式ではなく、なぜ『舟橋』方式にしたのか?」ある使用録に記されている『名古屋美女』言説の由来は?」などの話題に及んで、盛り上がった。

## 隣国と交わした誠信にふれてみませんか 江戸時代の朝鮮通信使使行録・和訳本

故・若松實さん渾身の業績=日朝協会愛知県連版  
★お問い合わせ/ご注文は、県連事務局へ=No.でお示しを。代金は実物届き次第、同封の振込票で入金してください。

【No.1】	慶七松・著	海槎録	1607 ①次	1,500円
【No.2】	呉允謙・著	東槎上日録	1617 ②次	1,500円
【No.3】	李景稷・著	扶桑録	1617 ②次	1,500円
【No.4】	姜弘重・著	東槎録	1624 ③次	1,500円
【No.5】	任統・著	丙子日本日記	1636 ④次	1,000円
【No.6】	(著者未詳)	癸未東槎日記	1643 ⑤次	1,500円
【No.7】	洪禹載・著	東槎録	1682 ⑦次	在庫無 コピ-1,500
【No.8】	黄慎・著	日本往還日記	文禄後 ⑧次	1,500円
【No.9】	柳相弼・著	東槎録	1811 ⑫次	1,000円
【No.10】	金指南・著	東槎日録	1682 ⑦次	在庫無 コピ-1,500
【No.11】	南壺谷・著	扶桑録(上)	1655 ⑥次	在庫無 コピ-2,000
【No.12】	南壺谷・著	扶桑録(下)	1655 ⑥次	在庫無 コピ-2,000
【No.13】	任守幹・著	東槎日記	1711 ⑧次	1,500円
【No.14】	曹蘭谷・著	奉使日本時間見録	1748 ⑩次	2,000円
【No.15】	趙嘏・著	海槎日記	日記編 ⑪次	1763 2,500円
【No.16】	趙嘏・著	海槎日記	酬唱編 ⑪次	1763 1,500円
【No.17】	趙嘏・著	海槎日記	書契・延話編 ⑪次	1763 1,500円

## 物語・朝鮮事情70年

(16)

## 覇権主義と主権の二つの潮流

## 第四話／70年戦争～第二次核対決時代

## 鎮 宗 金

(二) ランドパワーと技術・物  
量戦対思想・坑道戦法

## アメリカ軍戦略思想

アメリカの国際政治学者エリオット・コーエンは「アメリカ流の戦争方法」として次の8つを挙げている。

歴史に対する無関心、

技術開発の様式技術志向的な問題解決、

忍耐力の欠如、

文化的差異に対する無理解、

大陸国家的な世界観と海洋国家

としての位置付け、

戦略に対する無関心、

大規模な軍事力行使、

政治の忌避、

である。

米軍のランドパワーの中心は技術依存、火力重視、物量での圧倒だ。

米軍は「軍事技術革命軍」(RMA)と呼ばれる。

一次クリントン政権での国防長官ウィリアム・ペリーはテクノロジー

ギー面での相乗効果の利用を論じた。

A II 指揮・統制・通信・コンピュータ・インテリジェンスの分野、

B II ステルス(低被捕捉性)、精密誘導技術、

C II 機密情報収集・監視・偵察、を組み立てた戦争の方法だ。

米軍の進化はこれまでの通常戦を時代遅れにしてしまった、と言われる。

RMAの思想家の一人、トフラー(『第三の波』の著者)は情報テクノロジー発展による戦争の特徴について、①大部隊から小規模部隊へ、②現場レベル部隊の自律性の増加、③専門性の高い兵士……等をあげ、民間の情報テクノロジーを軍事に採用することにインパクトを与えた。

ドナルド・ラムズフェルド(二〇〇二年 国防長官)は、①小規模で機動的な部隊、②精密交戦、③戦場認識の増加、とくに④統合の必要性を強調している。

以上のように、米軍の戦争方法はネットワーク中心の戦いであり、

最先端情報電子機器をまとった重装の兵士による。

イラク戦争での戦車戦では、米軍の戦車は衛星からの情報で、ハリコプター隊、先端機器をもつ歩兵によって、「圧倒的な状況認識」を得ることによって戦果をあげている。

米RMA軍は正に「電子ゴリアテ」である。

## 米軍流 軍事作戦

米軍の作戦は、敵の重心に関する「五つの環モデル」と言われる。『五つの環』とは、①敵のリーダーシップ・最高司令部を狙う、②戦争産業と、③インフラと、④国民の破滅と大量殺戮、そして展開中の、⑤敵軍を攻撃する作戦だ。

新聞紙上では『斬首作戦』として報じられるが、まさに①のリーダーシップ・最高司令部への攻撃だ。

米軍のベトナムと朝鮮戦争の失敗の結果、米国の軍事戦略家はクラウゼヴィッチの「戦争論」から

「孫子の兵法」にも理論研究の領域をひろげたという。

また、反撃する人民の軍隊の士気の高さと長期化する戦闘のプロセスから学んだものだろう。

### 朝鮮人民軍の軍事思想

『先軍政治と朝鮮半島の平和』(ピョンヤン外国文出版社)は、平和とは哀願によって得られるものではない。現代における戦争とは前線と後方が分かれぬまま進められる立体戦であり、軍隊だけでなく全人民が動員されて戦う全民抗戦である。

『偉大な領導者金正日同志が明らかにする先軍政治の全面的確立に関する主体の理論』(ピョンヤン社会科学出版社)は、国民総動員の正規戦、ゲリラ戦、ミサイル戦を展開する。外国に頼らない兵器生産を継続する体制を構築する。情報技術を利用する電子戦、宇宙戦を行う、とある。

先軍思想は国家や民族の主体性を重視する主体思想を実現するために軍事を優先する思想である。

祖国と革命、社会主義を守り、社会主義建設を推し進める社会主義政治スタイルである。七十年戦争の産物でもある。

『先軍政治』の内容が公にされたのは一九九九年六月十六日の『労働新聞』(朝鮮労働党機関紙)からである。

以上にもみるように、朝鮮人民軍の軍事思想とは、技術論でなく、革命思想論である。よって、人民軍の長所としての思想意識の強さに反映される。

### 日本アナリストによる朝鮮人民軍論

中村好寿の『軍事革命(RMA)』(中公新書)は、「アメリカ軍は情報型軍事革命である」：将来、米

国のRMAに敵対しようとする軍隊は、自らの軍隊の長所を確認し、自らの軍隊の弱みを見抜くことになるであろう。非対称的な軍隊の長所は、①長期戦を戦い抜く強靱な意志、②兵力数の圧倒的優位、③土着性の強い戦法にある、と分析する。

塚本勝一『北朝鮮・軍と政治』(原書房)は、朝鮮人民軍の対米戦の長所は、①世界に比類のない思想重視の軍隊であり、②正規戦とゲリラ戦を長期にわたり戦う軍隊、

③世界第三位の兵員数を有する、④完成された土着戦法態勢(地下化された飛行場、潜水艦基地、歩兵陣地の坑道化、兵器工場の地下化)を持つ。

中村好寿「特に精鋭誘導ミサイルはRMA軍を打撃し、人的・物的損害を与える」。

松井茂『謎の軍事大国北朝鮮』(新潮文庫)は、これまで第二次朝鮮戦争が勃発しても戦場は朝鮮半島および近海に留まると見られていた。だが、ワシントン、ニューヨークが破壊される危険が生じるに至った。

### 朝鮮人民武力の編成

朝鮮の軍隊は二大武装集団からなる。一つは正規軍、二つは人民保安部(武装警察と国家安全保衛部)スパイ、反革命分子摘発)である。さらに予備軍が創設されて

いる。企業、農場、大学単位で構成された、労働赤衛隊である。一九七〇年に青年近衛隊が創建された。朝鮮人民軍軍種は、陸軍、海軍、航空及び反航空軍によって編成されている。(二〇一五年現在)二〇一四年には戦略軍がつくられた。

常備兵力数について、英国国際戦略研究所の『ミリタリーバランス』(二〇一四年版)は一一九万と推定している。

日本の『新しい戦争とは何か』(川上高司・ミネルヴァ書房)は二〇〇八年の常備兵力を七〇万二千三百七二名と推定している。

予備軍は、六〇〇万人と言われ、主に地域防衛を担当しており、男性だけでなく女性も予備軍に入っている。

人民軍の兵役制は、志願制であったが、二〇〇三年三月以後は選抜徴兵制が布かれた。

各技能は優秀さを評価され、エリートは大学に進学するが、その他は高級中学校(高校)卒業後は義務として軍隊に入る。

【この項、つづく】



# 琉国物語 ⑨

金城博己

（琉球人）

## 那覇市松尾ワールドストアー（前号からのつづき）

ついでに、Aサインバーのシステムなるものを簡単に記しておこう。

Aサインバーには女性の従業員いわゆる専属のホステスというのはいない、バーに必要なのはマネージャーとボーイそして少なからず魅力的なバンドマン達である。女性達はどのバーにも縛られず、常に仲間たちと連絡を取り合い、何処の部隊の兵達がいつ休暇で帰ってくるのか、何処のバーに行くのか情報を入られて、稼ぎの為に準備をするのである。そこで彼女達は米兵に一杯一ドルのドリンクをバイミードリンク？などと言いつつながらおごってもらい、バーからはそのドリンクごとに交換用の、バスの回数券ほどの大きさのチケットを受け取る。女性達は何処のバーも出入り自由であり、時間も気にする必要もない。チケットは一枚五十セントと交換できるようになっていて、即日に彼女達の都合のよい時に支払われる。たいていは、二十枚、換金すると十ドルもチケットが貯まると、米兵などほつたらかして、現金に交換して家に帰る。そのほつたらかされた米兵はまた別の女の子を求めてドリンクをおごつてまわり、自分が酔いつぶれるか、一文無しになるまでさまようのである、これが

戦争の果ての現実だ。照屋トヨの話がつづく。

「それから、そのネーネー（女の子）宮城さんっていったかネー。いいかい、よく覚えておきなさいヨ、沖縄の男はみんな呑気なノンカーばかりだから、今からは女が頑張っていかなと琉国は成り立っていかんヨ。昔みたいに夫婦でも男と女は別々の財布でやっていくつもりじゃないと琉国の経済は難しいサ」。絶対にその事忘れんでヨー」

洋子と英雄は、照屋トヨの迫力に呑まれた様に黙って頷いた。

一九七三年五月二五日

ワールドストアーの照屋トヨと会った一週間後。洋子は、また英雄に誘われて、元琉球政府主席の宜野座政保に会いに行く事になった。今回は、琉国政府の職員として働いている従兄弟の宇良啓一も一緒である。

宜野座政保は、主席退任後は沖縄全体の電力をまかなっている電力会社の社長をしているので、琉国の抱えている問題の中でも重要な、エネルギーの将来について意見を伺おうというのである。宜野座政保は、痩せ型でやさしそうな顔つきをしている。洋子はヤンバルのオジーによく似てると思ったが、話をし

だすうちに、言葉使いもオジーそつくりの流暢な日本語なので、何か初対面のような気がしない。

宜野座は穏やかな表情で、

「みなさんが進めているメディア村を作るという構想は、素晴らしいと思いますね。どなたの発想でしたのでしょうか。」褒め称える感じで尋ねてきた。

「あれは、琉大の学生が最初に提案してくれたんです。琉国の現状をありのまま世界中に、見て聞いてもらう事によって、琉国は人種や信条が違っても、どの国とも友好関係を保ちたいという方針を理解して信じてもらえるのではないかという事なんです。琉国政府でもすぐに検討して、それでいこうと決まったんです。それも、琉国が自治独立宣言をしてから一週間もたたないうちにきまりました。」英雄が、その時の様子を話した。

「そうだったのですか。若い人の発想というのは素晴らしいものがありますね。例えば悪いかもしれませんが、町中の人が見ている家に空き巣や強盗に入る人はいませんかでしょうし、また逆に町中から見られている家の人が、外でも内でも悪い事はできませんでしょう。」

軍隊を持たないで国を守る、ということでは、独立国として大切な役割ですね。メディア村の充実と発展を期待します。そして、それに伴い世界中の社会事象や、経済情報の集約は琉国経済の発展の重要な資源になるでしょうね。そうすると、みなさんはその情報を的確に分析して、琉国の発展の為に活用できるように勉強強しなければなりません、よろしくお願い致します。」

「はい。もちろんその事に、私達は決して骨身を惜しみません。私達の後輩の学生の皆さんはもとより、現役で社会生活を送ら

れている方々にも、様々な分野で勉学の道を開いています。今一番力をいれていますのが語学でして、最終的には世界中の言語を余すことなく習得して貰える様に計画しています。それと並行する形で工業、農業、経済の分野のスペシャリストの養成のための教室も計画、準備中です。」

英雄は、自信を持って答えた。

「そうですね、それは頼もしいお話です。」

ところで、今日は琉国のエネルギーに関するお話という事でしたが。」

宜野座が本来の話に戻した。

「はい、これまでも琉球政府の時代から生産工場の誘致の運動をしていました。」

しかし、生産工場の誘致の為に電力供給量やそのコスト、そして水資源などの課題が解決の見通しがつかない為に、好意的に興味を持つてくれませんでした日本企業も、やむを得ず工場設立を断念してきたという経過がありました。琉国としましては、エネルギーの安定供給については、大変重要な課題になっています。」

もとより、英雄にとっては専門外の分野なのだが、そんな事は言っておられない。

すると宜野座は、

「沖縄の電力は全て火力に頼っています。それに、もちろん燃料は全て輸入に頼らなくてはなりません。現在わずかの希望と言えば、石油燃料に変えて石炭燃料の発電所に随時変えていくかと計画しており、中国からの安い石炭が安定した供給を頼めれば、今よりはコストが削減されるかと期待をしているんです。時代に逆流しているのかも知れませんが、石炭発電による

環境汚染の除去の技術が進んでいますので見通しは良いかと思  
います。

しかし、その石炭発電所の計画も当座しのぎというのが本音  
ですから、根本的なところで解決策を考えていかななくては、将  
来の琉国の展望に支障が出てくるかもしれないと心配している  
ところです。あなた方の考えや計画としては、どうなのでしょう  
うか。」

英雄達は、キビシイ課題をなげかけられた。

「本当に厳しい決断を伴うお話になつてまいりましたが、まず  
中国の石炭についてお話をさせていただきますと、中国は昨年の  
琉国の独立宣言の翌日には、琉国に対して財政援助の申し出を  
してくれました。琉国としましては、金銭的な援助は本当のと  
ころ大変ありがたいのですが、財政援助を受けて他国との友好  
関係のバランスを疑われる事があつてはいけないという意味  
で、丁寧にお断りをいたしました。しかし、他国同様、友好関  
係の継続はお願いいたしますという事で、その関係は現在も続  
いています。ですので、中国側と話し合いを持つという宜野座  
さんのご希望は叶うものと思えます。」

それと、本日は将来のエネルギー政策につきまして、ご相談  
に乗つて貰うためにお訪ねさせてもらっています。その件につ  
いては、こちらの宇良啓一がお話させて頂きたいと思えます。」  
英雄は、宇良をうながした。宇良啓一は、宜野座にどう説明  
したら良いのかまだ迷っていたが、とにかく落ち着いて話さな  
ければと自分に言い聞かせた。

「実は、これは私の意見ではないので、どう分かりやすくお話を  
すればよいのか困っています。琉球大学に、私の後輩の理科  
系の学生がおりまして、その後輩によりますと、従来の発電方

式というのは、人間が自力で電気を起こせるようになって百年  
以上も経つのに、その原理はまったく進歩していないと言うん  
です。現在アメリカやフランスが原子力による発電所をどんど  
ん作っていますが、その原理も同じように何も変わっておらず  
に、ただどんな動力でタービンを回して発電するかの違いだけ  
で、何も進歩はないというのです。それに私では、どうにも  
理解しかねるのですが、その後輩によると地球自体が地上最大  
の蓄電池であるから、地球から電気をひけば良いのだと言いつ  
すもので、私では、ちよつと手にあまつています。」

すると、宜野座の表情が変わつて、少し身を乗り出すように  
啓一の方へ寄つた。

「今、おつしやつた事と同じ論理を私は四十年前にも聞いてい  
ます。アメリカ留学中の宿舍の同じ部屋の学生でドイツからの  
留学生でしたが、同じように、タービン式の発電というのは極  
めて原始的であり、根本から発電の原理を追求しなかなけれ  
ば、将来的にはエネルギー不足に陥りかねないという事でした。  
その学生さんの言う事と似ているような気がしますね。残念な  
がらそのドイツの友人は、先の大戦でドイツに帰国後、戦死し  
たという事です。戦争は大変有望な人間の命もいとも簡単に  
奪つてしまいました。」

今、原子力発電という話もありましたが、諸外国はともかく、  
日本では原子力という名の発電所は受け入れられないでしょう  
し、私も賛成はしたくありません。

（ところがその頃日本では、アメリカの意をそのまま受け、  
原子力発電を天からの授かりもののごとく、政策として押し進  
めているのである。）

それでその学生は、他には何か言っていますませんでしたか。私

もその彼と一度会ってみたいものですね。」 宜野座は、興味津々なのを隠そうともせず言った。

慌ててしまったのは、啓一達の方である。

「宜野座さん、申し訳ありません。私の説明が足りませんでした。その琉大の後輩は、彼、いや男性ではなく、女生徒なんです。」

「エッ、女生徒さんですか、それにしても大胆な発想をされる女性ですね。」

宜野座までが驚いた様子である。洋子は、たまりかねて、

「宜野座さん。沖繩のオンナは、オトコにひけを取ったりしませんよ。」

昔から沖繩をずっと支えてきて、そして戦後も沖繩のドル収入の大部分を稼ぎ出したのは、女たちだったと思いますよ。それも大変な思いをして、沖繩の経済を支え続けたのも女達だったはずじゃないですか。」

洋子は言い終えてから、シマッタ！と思ったが、もう口から出たことは取り返しがつかない。

「宮城さん、これは面目ありません。女生徒と知って驚いたのは事実ですが、決して沖繩の女性を下に見ている訳ではありません。どうか誤解をしないでください。」

でも、その女生徒が大した考えの持ち主だというのは、本音なんです。それで、宇良さんは、私にどうして欲しいという事なんですか。」

興味深げな宜野座の目が、さらに優しく問いかける。

「はい。ご相談というより、お願いという事になるのだと思いますが、宜野座さんの電力会社の技術者の方たちと学生を交えて、合同の電力開発の研究チームを作って頂いて、琉国のエネ

ルギー問題に取り組んでもらえないでしょうか。」

宇良は深々と頭を下げ続けた。その隣で、洋子は先ほどの事で恥ずかしさも有り、啓一が頭をあんなにまで下げているのを見て、目のやり場に困ってしまった。

「宇良さん、そんなに頭を下げるのはおやめください。私は、もう見ての通りに年を取りました。いろいろな研究、開発の必要性は充分に分かっているつもりでも、その氣力を保つ事が難しくなっています。が、やっとその研究、開発のきっかけを作ってくれる方、それも大変お若い方が出て来てくれた事は嬉しく思います。」

私どもで協力できる事があるのなら、もちろん喜んでお手伝いさせていただきます。」

その日をスタートにして、琉国は二十余年にわたり、研究開発の苦勞を背負って行く事になるが、二十数年後には世界中が驚きと賞賛を送ってくれる研究成果が生まれるのである。

しかし、その二十数年間の技術者と研究者の苦惱は言葉に表せないものがあると共に、若くして堂々と自分の主張を譲らなかつた、その女生徒（伊波 琴美は国費試験に合格したが琉大に残つた）の才能を何と言つて褒め称えればよいのか分からない。その研究開発の経過は、物語の進み具合にあわせて報告して行く事になるでしょう。

（つづく）

★タイトル上のカットは、琉球郵便切手（一九四五年から一九七二年五月までの米軍占領時代、琉球で発行されたもの）

# いま面白い市民運動の情報誌 グループ紙誌 拜見

## ●ドトリー(トトリ)通信

(第十八号)二〇一七・九・二〇  
【発行】朝鮮学校にも差別なく高  
校無償化を求めるネットワーク愛  
知

○今、伝えたいことと裁判体「忌  
避」の決断と愛知の決意

○二〇一七年度総会報告／基調  
講演(丹羽雅雄弁護士)報告

○広島・大阪 無償化裁判判決要旨  
を比較して日本社会の差別観を  
見る：金秀烈

○【事務局】ほのぼのの便り：三浦  
綾希子

## ●なくす会通信

(第六十号)二〇一七・九・三十

【発行】在日外国人の年金差別を  
なくす会(名古屋市昭和区山脇町)

○愛知県交渉報告(八・二九)「在

日外国人無年金者に対する特別給

付金の新設及び増額についての要

望書(県側対応)健康福祉総務課

・障害福祉課・高齢福祉課

【資料】▽愛知県が国に働きか

けた要望▽厚労省年金局「在日

外国人に係る老齢基礎年金、障害

基礎年金等の未受給者に対する救

済について」▽「なくす会」及び

愛知県が調査した愛知県内の救済

制度(二〇一七・七・二八)▽道

府県単独事業の在日外国人手当等

支給状況(平成二九年度予算)

ほか

## ●名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身

隊訴訟を支援する会 News

(第七二号)二〇一七・十

【発行】同会(名古屋市千種区)

○【光州地裁】第三次訴訟(八月

八日)、第二次訴訟(八月十一日)

判決報告／三菱重工に賠償命令

▽勝利判決集会に寄せて：平山

良平 ▽判決報告：金正熙弁護士

○『名誉市民証』授与式参席／三

五回目の光州訪問：高橋信▽感謝

と決意：高橋信▽ご挨拶：小出裕

○明るい未来めざし語り合った一

七夏季日韓青少年交流：むらまつ

ひさと

○戦争展報告：林安宅

○「二七年度総会」▽議案▽報告

：納谷昌宏▽連帯メッセージ：光

州・勤労挺身隊ハルモニと共にす

る市民の会・常任代表 李国彦

ほか

○賢治逍遙(4)賢治の東北砕石

工場に対する献策：大伊和雄

○【覚書】市長時代の河合陸郎：

長谷川哲男

ほか

○「第五二号」二〇一七・十・一九

【発行】これから出版(愛知県

豊橋市)

○石川啄木 晩年の詩歌と社会認識

：別所興一

○捕虜たちからみた社会史(前編)

：渡会 仁

○賢治逍遙(4)賢治の東北砕石

工場に対する献策：大伊和雄

○【覚書】市長時代の河合陸郎：

長谷川哲男

ほか



日 2017年 12月2日(土) 14:00開演・3日(日) 11:00開演  
18:00開演 15:00開演  
(開演は開演の30分前) ※3日(日)は本公演が15時開演のため  
名古屋 名古屋東文化小劇場 前席 一般2,000円/学生1,600円/小児1,000円  
※全席指定 観覧券・外国人の方はそれぞれ300円引 ※1,000円未満

【ご予約・お問い合わせ】お申し込み・お申し込みの受付は下記までお願いいたします  
名古屋 名古屋東文化小劇場 TEL-FAX 052-751-9132 水戸 水戸 TEL-FAX 0561-39-3189  
Email: info@hirakiza.com http://www.hirakiza.com

【表紙】三浦雅子

日本と朝鮮 / 愛知版

2017年 10月(410)号

■発行/日朝協会(発行責任者=石橋正夫) ■昭和28年11月30日 第三種郵便物認可  
■編集/日朝協会愛知県連合会事務局 ■464-0853 名古屋市千種区小松町6-9-1  
■Tel・Fax/052-731-9445 ■Eメール/y-koide@mse.biglobe.ne.jp  
■サイト/http://www.aichi-niccho.com/